

# 令和2年度島根支部事業実施結果

令和3年7月15日 令和3年度第1回評議会

# I .島根支部の概況

# 1. 島根支部主要計数の推移

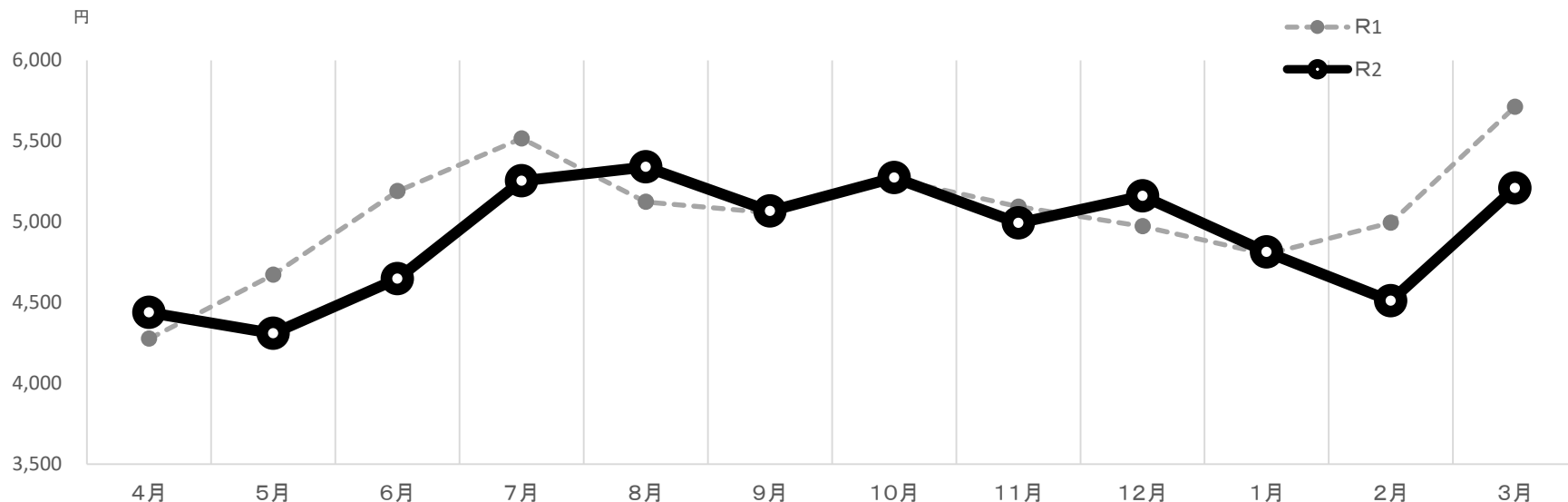
※下段数値は前年度比伸び率、マイナスは赤字。

項目		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1. 加入者数 (人) (被保険者数 + 被扶養者数)	島根支部	258,851 —	258,517 -0.13%	254,951 -1.38%	252,426 -0.99%	250,854 -0.62%	248,227 -1.05%	248,326 0.04%	243,144 -2.09%
	全国	35,643,348 —	36,392,457 2.10%	37,164,935 2.12%	38,071,205 2.44%	38,929,641 2.25%	39,400,303 1.21%	40,443,671 2.65%	40,296,347 -0.36%
2. 被保険者数 (人)	島根支部	151,156 —	152,469 0.87%	151,540 -0.61%	151,829 0.19%	152,347 0.34%	152,289 -0.04%	153,868 1.04%	151,910 -1.27%
	全国	20,303,177 —	20,901,905 2.95%	21,577,484 3.23%	22,428,161 3.94%	23,203,471 3.46%	23,757,186 2.39%	24,793,285 4.36%	24,877,229 0.34%
3. 被扶養者数 (人)	島根支部	107,695 —	106,048 -1.53%	103,411 -2.49%	100,597 -2.72%	98,507 -2.08%	95,938 -2.61%	94,458 -1.54%	91,234 -3.41%
	全国	15,340,171 —	15,490,552 0.98%	15,587,451 0.63%	15,643,044 0.36%	15,726,170 0.53%	15,643,117 -0.53%	15,650,386 0.05%	15,419,118 -1.48%
4. 事業所数 (件)	島根支部	11,469 —	11,665 1.71%	12,016 3.01%	12,160 1.20%	12,266 0.87%	12,299 0.27%	12,458 1.29%	12,520 0.50%
	全国	1,680,537 —	1,749,928 4.13%	1,858,887 6.23%	1,994,022 7.27%	2,113,359 5.98%	2,224,070 5.24%	2,324,510 4.52%	2,398,948 3.20%
5. 平均標準報酬月額 (円)	島根支部	242,289 —	245,068 1.15%	245,268 0.08%	245,627 0.15%	248,390 1.12%	251,795 1.37%	254,974 1.26%	253,498 -0.58%
	全国	277,116 —	279,789 0.96%	282,001 0.79%	284,285 0.81%	287,218 1.03%	290,660 1.20%	292,462 0.62%	289,937 -0.86%
6. 医療給付費 (調整前・国庫補助を除く) (百万円)	島根支部	28,692 —	29,566 3.05%	31,064 5.07%	31,204 0.45%	31,355 0.48%	31,926 1.82%	33,345 4.44%	31,833 -4.54%
	全国	3,781,882 —	3,912,541 3.45%	4,243,133 8.45%	4,341,333 2.31%	4,513,199 3.96%	4,681,495 3.73%	5,033,228 7.51%	4,755,777 -5.51%
7. 加入者1人当たりの医療給付費 (項番6/項番1)	島根支部	110,844 —	114,368 3.18%	121,843 6.54%	123,616 1.46%	124,993 1.11%	128,616 2.90%	134,279 4.40%	130,921 -2.50%
	全国	106,103 —	107,510 1.33%	114,170 6.20%	114,032 -0.12%	115,932 1.67%	118,819 2.49%	124,450 4.74%	118,020 -5.17%

(注) 1. 1から5の項目は、協会けんぽ月報より集計した年度末時点の数値である。

2. 6の項目は、協会けんぽ決算における年齢調整・所得調整・激変緩和等の調整前の数値である。

## 2. 診療区分別月別加入者1人当たり医療費（入院）



	入院							
	件数		日数		医療給付費 (千円)		医療費 (千円)	
	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2
4月	2,180	1,847	21,701	19,934	943,142	980,545	1,072,622	1,092,954
5月	2,249	1,852	23,853	20,788	1,034,928	956,213	1,168,484	1,062,524
6月	2,489	2,066	25,835	20,843	1,153,136	1,022,698	1,298,051	1,145,068
7月	2,585	2,243	26,303	23,364	1,224,103	1,157,267	1,378,882	1,293,089
8月	2,579	2,386	24,580	24,544	1,122,683	1,168,147	1,278,049	1,314,019
9月	2,501	2,271	24,372	22,917	1,115,481	1,114,649	1,261,607	1,246,475
10月	2,523	2,324	24,735	23,253	1,163,221	1,158,052	1,313,420	1,297,234
11月	2,318	2,138	23,824	21,364	1,131,774	1,101,651	1,270,563	1,228,097
12月	2,220	2,142	23,469	22,305	1,104,262	1,139,655	1,238,977	1,268,786
1月	2,184	2,030	22,980	21,510	1,058,417	1,059,725	1,194,003	1,179,686
2月	2,181	2,022	22,602	20,021	1,110,726	985,496	1,243,149	1,104,534
3月	2,303	2,249	24,465	22,949	1,272,774	1,135,933	1,418,617	1,266,350
合計	28,312	25,570	288,719	263,792	13,434,647	12,980,030	15,136,425	14,498,814

令和2年度医療費は、令和元年度に比べて減少している。

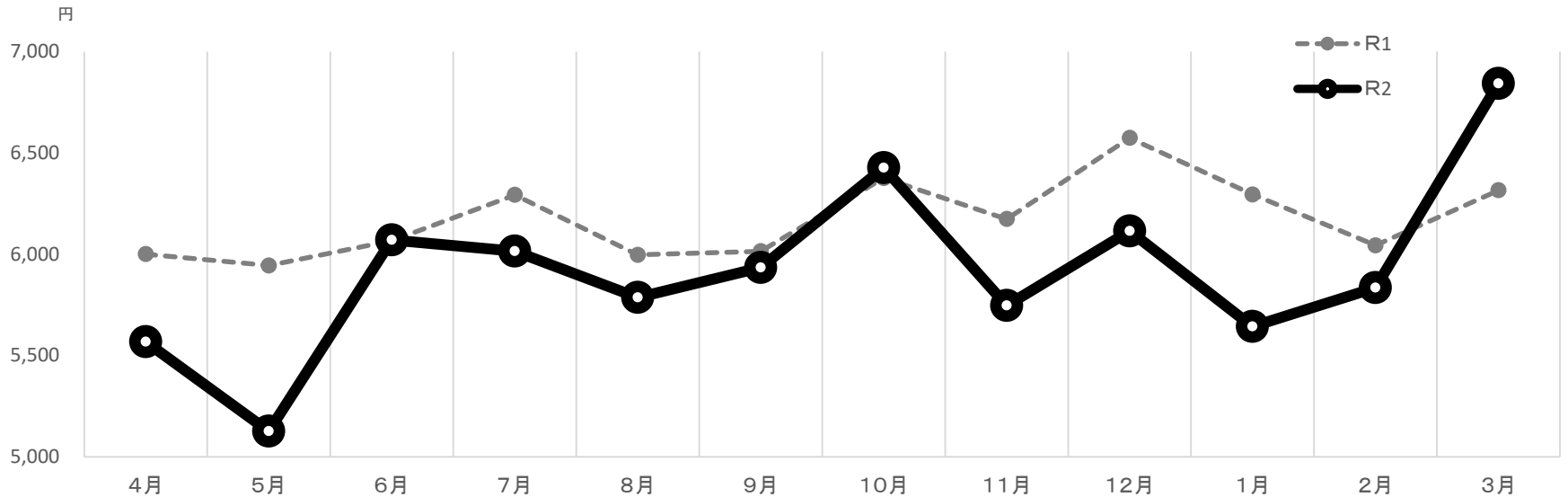
〈月別加入者1人当たり医療費の推移の特徴〉

- ・6月が対前年度で最も落ち込みが大きい
- ・4月が対前月で最も落ち込みが大きい

〈令和元年度との比較〉

- ・請求件数・・・減少
- ・請求日数・・・減少
- ・医療費・・・減少

### 3. 診療区分別月別加入者1人当たり医療費（入院外）



	入院外							
	件数		日数		医療給付費 (千円)		医療費 (千円)	
	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2
4月	139,118	122,748	195,045	169,086	1,128,438	1,040,463	1,504,967	1,371,065
5月	137,342	111,748	187,259	149,674	1,116,179	958,758	1,486,472	1,263,863
6月	139,500	129,076	193,611	177,668	1,140,120	1,127,696	1,516,964	1,495,671
7月	142,558	129,359	201,051	179,008	1,179,457	1,114,780	1,572,822	1,480,209
8月	134,605	127,290	185,023	171,582	1,133,797	1,074,887	1,495,800	1,423,986
9月	134,733	125,234	186,959	171,300	1,133,998	1,105,121	1,500,294	1,459,748
10月	141,119	136,165	199,405	191,363	1,204,588	1,195,135	1,590,235	1,580,782
11月	140,475	125,736	195,439	170,070	1,162,992	1,068,484	1,539,999	1,413,768
12月	149,226	131,683	207,322	180,753	1,228,899	1,138,693	1,638,070	1,503,564
1月	137,961	116,230	187,215	153,999	1,184,066	1,048,562	1,566,368	1,382,845
2月	139,434	126,070	190,667	167,407	1,129,837	1,078,352	1,504,104	1,428,936
3月	140,490	142,214	194,134	196,432	1,186,859	1,260,382	1,568,259	1,663,812
合計	1,676,561	1,523,553	2,323,130	2,078,342	13,929,230	13,211,313	18,484,352	17,468,248

令和2年度医療費は、令和元年度に比べて減少している。

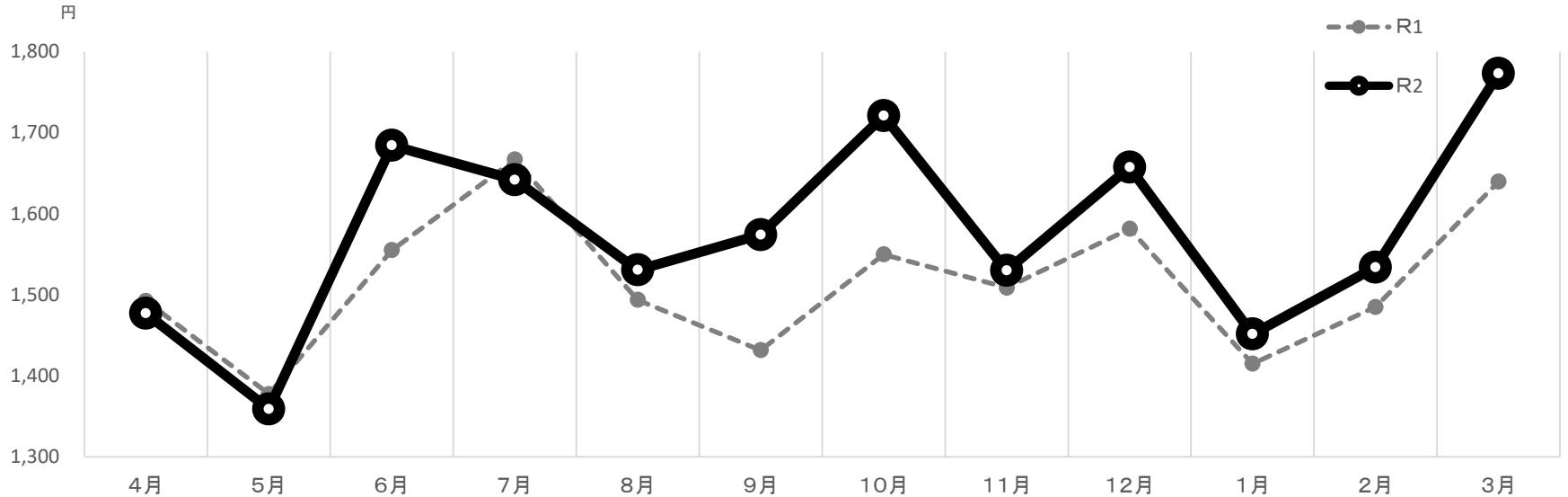
＜月別加入者1人当たり医療費の推移の特徴＞

- ・5月が対前年度で最も落ち込みが大きい
- ・11月が対前月で最も落ち込みが大きい

＜令和元年度との比較＞

- ・請求件数・・・減少
- ・請求日数・・・減少
- ・医療費・・・減少

## 4. 診療区分別月別加入者1人当たり医療費（歯科）



	歯科							
	件数		日数		医療給付費 (千円)		医療費 (千円)	
	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2
4月	31,391	28,032	51,655	46,545	266,579	260,170	374,278	363,690
5月	30,343	26,534	48,458	43,726	245,657	239,146	344,430	335,083
6月	33,516	31,145	54,126	52,614	276,854	298,519	388,887	415,006
7月	34,933	31,268	57,864	51,645	298,166	290,778	416,603	404,092
8月	32,211	30,579	50,206	47,663	267,089	268,717	372,569	376,619
9月	31,233	31,148	49,449	49,186	254,379	275,741	357,124	387,228
10月	32,254	33,918	52,072	54,458	276,765	302,753	386,546	423,290
11月	32,216	32,127	51,709	48,993	268,724	268,211	376,330	376,343
12月	32,785	34,020	52,073	52,140	284,139	292,021	394,056	407,546
1月	30,827	30,127	48,738	45,840	252,257	255,267	352,051	355,701
2月	31,962	31,277	50,511	48,268	263,889	267,665	369,547	375,641
3月	33,491	34,367	54,486	54,999	292,467	308,902	407,140	431,080
合計	387,162	374,542	621,347	596,077	3,246,963	3,327,889	4,539,560	4,651,319

令和2年度医療費は、唯一令和元年度に比べて増加している。

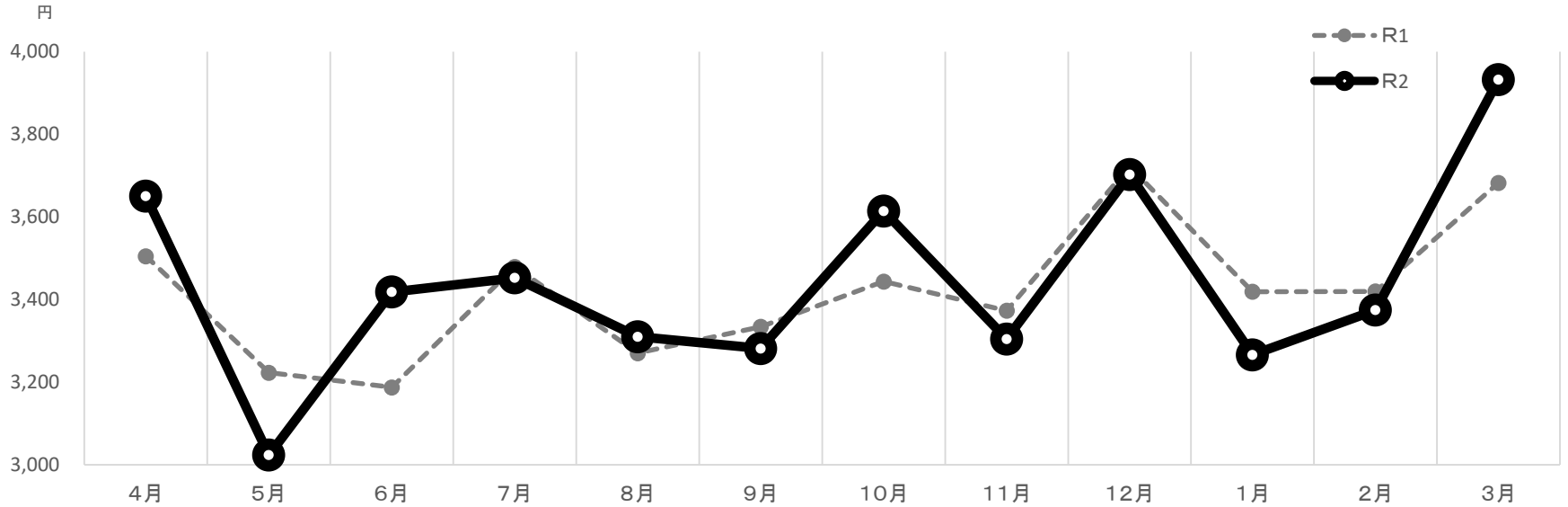
＜月別加入者1人当たり医療費の推移の特徴＞

- ・ 10月が対前年度で最も上がり幅が大きい
- ・ 6月が対前月で最も上がり幅が大きい

＜令和元年度との比較＞

- ・ 請求件数・・・減少
- ・ 請求日数・・・減少
- ・ 医療費・・・増加

# 5. 診療区分別月別加入者1人当たり医療費（調剤）



	調剤							
	件数		処方箋枚数		医療給付費 (千円)		医療費 (千円)	
	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2
4月	91,444	84,336	112,604	101,741	646,507	671,404	879,083	898,869
5月	88,605	73,542	105,684	85,541	593,385	553,658	805,933	745,471
6月	88,228	83,437	106,530	98,569	587,052	631,396	797,094	842,247
7月	91,101	83,727	111,436	99,857	645,069	632,308	869,565	849,666
8月	86,209	81,835	103,465	95,948	598,822	607,051	815,774	814,522
9月	87,819	81,173	106,251	95,730	618,477	600,803	831,674	807,300
10月	93,846	90,131	115,716	109,290	631,520	661,269	858,966	889,019
11月	92,885	82,605	113,604	97,229	618,903	606,883	841,417	812,915
12月	98,489	87,878	120,773	105,117	689,793	678,351	927,420	910,530
1月	90,934	76,775	108,408	88,387	630,781	597,084	850,721	800,470
2月	93,016	84,544	111,680	97,588	628,336	613,597	851,032	826,341
3月	93,386	94,772	112,953	113,731	678,860	706,797	914,448	956,166
合計	1,095,962	1,004,755	1,329,104	1,188,728	7,567,504	7,560,602	10,243,126	10,153,517

令和2年度医療費は、令和元年度に比べて減少している。

＜月別加入者1人当たり医療費の推移の特徴＞

- ・5月が対前年度で最も落ち込みが大きい
- ・5月が対前月で最も落ち込みが大きい

＜令和元年度との比較＞

- ・請求件数・・・減少
- ・処方箋枚数・・・減少
- ・医療費・・・減少

## II .基礎的保險者機能關係



# 1. サービス水準の向上

協会においては、傷病手当金等給付の申請の受付から給付金の振り込みまでの期間について、10日営業日をサービススタンダード（所要日数の目標）とすることを通じて、サービスの維持・向上に努めました。

## <サービススタンダード達成状況>

	R1年度実績	R2年度実績
達成率	100%	100%
所要日数	6.11日	6.46日

### <サービススタンダード対象6申請書>

- ・ 傷病手当金
- ・ 出産手当金
- ・ 出産育児一時金（本人・家族）
- ・ 埋葬料（費）（本人・家族）

## <郵送化の推進>

	R1年度実績 (平均)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2年度実績 (平均)
各種申請書の 郵送による受付率	87.9%	90.2%	93.4%	92.9%	92.3%	93.1%	93.3%	92.4%	93.7%	92.8%	92.1%	94.0%	92.0%	92.7%

## 2. 効果的なレセプト点検の推進

診療報酬が正しく請求されているか確認を行うとともに、医療費の適正化を図るために資格・外傷・内容点検の各点検を実施しています。なお、内容点検においては、支払基金との連携強化等に取り組むことで、実績の向上に努めました。

### <レセプト点検実施結果>

		R1年度実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2年度実績
資格点検	点検効果額	444百万円	23百万円	22百万円	34百万円	28百万円	33百万円	36百万円	34百万円	38百万円	21百万円	44百万円	45百万円	38百万円	396百万円
	加入者一人当たりの効果額	1,778円	93円	91円	139円	115円	132円	148円	137円	154円	85円	180円	183円	153円	1,610円
外傷点検	点検効果額	68百万円	13百万円	5百万円	13百万円	0百万円	13百万円	11百万円	6百万円	6百万円	2百万円	3百万円	3百万円	1百万円	75百万円
	加入者一人当たりの効果額	273円	54円	18円	51円	2円	51円	46円	25円	22円	7円	13円	10円	5円	304円
内容点検	点検効果額	59百万円	3百万円	7百万円	4百万円	2百万円	3百万円	2百万円	3百万円	-4百万円	10百万円	6百万円	1百万円	2百万円	38百万円
	加入者一人当たりの効果額	238円	13円	28円	15円	6円	11円	9円	12円	-17円	42円	24円	5円	7円	155円

### 3. 柔道整復施術療養費の照会業務の強化

柔道整復施術療養費については、多部位（施術箇所が3部位以上）かつ頻回（施術日数が月15日以上）の申請書の患者照会を強化し、保険給付の適正化に努めました。

#### 【柔道整復療養費の取組状況】

- 効果的な審査及び調査手法の検討、多部位・頻回申請に対する照会業務の強化
- 不適切な申請防止のための加入者及び事業主への周知の促進  
 整骨院の正しいかかり方に関するチラシを患者照会文書に同封するとともに健康保険委員向け情報誌「だんだん健康」による広報を実施（9月）
- 柔整審査会において「面接確認」を実施  
 申請内容に不正又は不当である等の疑義が生じた施術所に対して面接確認を3件実施し、申請誤りや不備、誤解等が確認できれば改善を求める。面接結果を審議、経過観察のうえ、必要に応じて厚生局へ情報提供を行う。

#### ＜柔道整復療養費にかかる患者照会件数＞

柔道整復	R1年度 実績 (合計)	R2年度												R2年度 実績 (合計)
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
3部位+15日以上申請件数	99	8	6	8	11	15	15	13	16	18	18	13	11	152
患者照会実施件数	1,292	67	21	45	29	51	123	45	76	0	95	17	65	634
総申請件数	32,609	2,309	1,926	1,793	2,139	2,384	2,332	2,333	2,439	2,211	2,228	2,084	2,075	26,253

# 4. 返納金債権発生防止のための保険証の回収強化、債権管理回収業務の推進

資格喪失後の受診による返納金債権の発生を防止するため、保険証の回収強化に取り組みました。  
 また、発生した債権については、文書催告のほか電話等による催告を早期に行うとともに、法的手続きによる回収を積極的に実施するなど債権回収に努めました。

## <保険証の回収状況>

保険証	R1年度実績													R2年度実績
	(合計)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(合計)
① 回収対象枚数	29,494	9,504	2,243	1,987	2,088	2,063	2,340	2,662	1,744	1,648	2,582	2,019	3,656	34,536
② 回収催告件数	2,526	553	289	171	159	144	143	199	150	77	204	258	289	2,636
③ 回収枚数	28,821	9,222	2,174	1,940	2,037	2,016	2,286	2,610	1,705	1,564	2,501	1,764	2,395	32,214
④ 回収率 (③/①)	97.72%	97.03%	96.92%	97.63%	97.56%	97.72%	97.69%	98.05%	97.76%	94.90%	96.86%	87.37%	65.51%	93.28%

## <債権回収実績>

		令和2年度実績		前年度との差	
現年度 回収率 (金額)	① 徴収決定済額	件数	869件	金額	-31件
		金額	82,383,705円	金額	-8,183,804円
	② 収納済額	件数	686件	金額	-33件
		金額	44,527,983円	金額	-60,395円
	③ 時効償却額	件数	0件	金額	0件
	金額	0円	金額	0円	
	回収率：②/①		54.05%		4.82%
全体 回収率 (過年度繰 越債権を含む)	④ 収納未済額	件数	183件	金額	2件
		金額	37,855,722円	金額	-8,123,409円
	⑤ 徴収決定済額	件数	1,299件	金額	19件
		金額	178,208,312円	金額	7,784,034円
	⑥ 収納済額	件数	803件	金額	-36件
	金額	74,178,376円	金額	10,897,720円	
	⑦ 時効償却額	件数	1件	金額	0件
		金額	48,777円	金額	41,434円
	回収率：⑥/⑤		41.62%		4.49%
	⑧ 収納未済額	件数	495件	金額	55件
		金額	103,981,159円	金額	-3,155,120円

### 支払督促等の法的手続き実施状況

法的手続き実施件数 : 6件  
 (昨年度 : 5件)

## 5. 高額療養費制度の周知

高額療養費制度の周知のため、事業主向け広報を充実させるとともに、限度額適用認定証の申請用紙を医療機関等に設置もらい、利用促進を行いました。

また、高額療養費の未申請者の加入者へのサービスとして、あらかじめ必要事項を記載した申請書（ターンアラウンド通知）を送付し、協会に返送してもらうことにより、高額療養費の申請漏れを防止する取り組みを行いました。

**【限度額適用認定証の申請用紙を設置している医療機関】** : **88医療機関**

### <限度額適用認定証発行枚数>

	R1年度実績（合計）	R2年度実績（合計）	前年度比
限度額適用認定証発行件数	12,572	10,736	-1,836

### <ターンアラウンド通知件数>

	R1年度 実績 (合計)	R1年度実績（月別）												R2年度 実績 (合計)
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ターンアラウンド通知件数	6,745	539	468	484	464	452	496	524	518	567	568	559	517	6,156

## 6. 被扶養者資格の再確認

令和2年度においても保険料負担の抑制のため、医療費及び高齢者医療制度への支援金等の適正化を目的に、健康保険の被扶養者となっている者が、現在もその状況にあるのか確認を実施しました。

全国における実施結果は、被扶養者が約6.8万人削除となり、高齢者医療制度への支援金等の負担軽減額は約1億円（推計）となりました。

### 【再確認対象者】

令和2年4月1日において認定されている被扶養者（任意継続の被扶養者を除く）

### 【実施内容】

- |                          |   |                  |
|--------------------------|---|------------------|
| (1) 事業所へ確認対象者のリストを送付する時期 | : | 令和2年10月1日～10月31日 |
| (2) 事業所からの提出期限           | : | 令和2年11月30日       |
| (3) 未提出事業所への文書勧奨         | : | 令和3年2月           |
| 未提出事業所への電話勧奨             | : | 令和3年2月～3月        |

### 【実施結果】

	被扶養者状況リスト関係				異動届関係					効果額 (億円)
	①提出 事業所数	②送付対象 事業所数	③提出率 (①/②)	【参考】 R1年度提出率	④異動届 枚数	⑤削除人数	⑥確認対象人数	⑦削除率 (⑤/⑥)	【参考】 R1年度削除人 数	
島根	6,662	7,073	94.19%	96.27%	586	608	36,739	1.65%	732	
全国	1,218,317	1,334,462	91.30%	91.35%	62,124	68,027	6,881,410	0.99%	66,193	1億円

## Ⅲ.戰略的保險者機能關係

# 1. 特定健診受診率・事業所健診データ取得率の向上

健診受診率の向上を図るため、加入者や事業主の方々への健診受診の勧奨や健診を受診しやすくするための環境面の整備を行いました。

## 【健診受診勧奨の活動状況】

- ・ 健診機関からの健診未受診事業所に対し生活習慣病予防健診の受診勧奨 2 健診機関により5,987名受診（下記1）
- ・ 外部委託機関による事業者健診結果データ取得勧奨 3,434社（下記2）
- ・ 健診機関からのデータ提供強化 5,396件（下記2）
- ・ 特定健診項目に検査項目を追加した「家族のためのがん検診パック」の実施 26健診機関336名（下記3）
- ・ 未受診者を対象とした集団健診の勧奨 3,765名（DM発送件数59,153 受診率：6.3%）（下記3）
- ・ 社長メッセージ付き集団健診の受診勧奨 1,606名（DM発送件数27,252 受診率：5.89%）（下記3）

## <健診実施状況>

※請求ベースによる速報値

被保険者		R1年度実績 (合計)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2年度実績		
																	合計
対象者 106,937 人	実施件数(人)	78,827	1,900	4,384	4,983	7,144	5,500	7,840	5,120	10,268	5,964	5,646	7,881	9,964	76,595	71.63%	
	内訳	生活習慣病 予防健診	64,611	1,505	3,766	4,706	5,791	4,477	6,001	5,033	9,661	5,333	4,980	7,204	6,674	65,132	60.91%
		事業者健診	14,216	395	618	277	1,353	1,023	1,839	87	607	631	666	677	3,290	11,463	10.72%
	実施件数累計 (人)	78,827	1,900	6,285	11,268	18,412	23,912	31,752	36,872	47,140	53,104	58,750	66,631	76,595	76,595	71.63%	

被扶養者		R1年度実績 (合計)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2年度実績	
対象者 25,258人	実施件数(人)	7,984	110	59	197	359	332	1,948	706	526	594	493	748	827	6,899	27.31%
	実施件数累計(人)	7,984	110	169	366	725	1,057	3,005	3,711	4,237	4,831	5,324	6,072	6,899		

## <結果>

- 1.生活習慣病予防健診受診率 : 実績：64.0%（目標：65.0%）
- 2.事業者健診結果データ取得率 : 実績：11.5%（目標：13.0%）
- 3.特定健診（被扶養者）受診率 : 実績：31.4%（目標：34.0%）



## 2. 特定保健指導の実施率向上

健診の結果、メタボリックシンドロームのリスクがあり、生活改善が必要な方には、特定保健指導を実施し、加入者の健康増進に努めました。

また、健診機関や保健指導専門機関等への委託による特定保健指導を積極的に推進し、特定保健指導の実施率向上を図りました。

### 【特定保健指導の活動状況】

- ・ 特定保健指導の専門機関への外部委託（初回・継続支援） 2機関 779件  
（継続支援のみ） 1機関1,134件
- ・ 健診実施機関への外部委託 9機関
- ・ 支部保健師等のスキルアップ
  - i) 保健事業推進研修会（年6回）及び保健指導ミーティングの実施
  - ii) 各圏域の地域職域会議主催等で開催される研修会への参加

### ＜特定保健指導実施状況＞

被保険者		R1年度実績 (合計)	R1年度実績												R2年度実績	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実施率
対象者 16,686人	初回実施件数(人)	5,544	249	45	221	451	401	414	499	531	399	340	370	325	4,245	25.44%
	完了件数(人)	3,810	342	212	511	320	257	205	238	225	293	288	353	441	3,685	22.08%

被扶養者		R1年度実績 (合計)	R1年度実績												R2年度実績	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実施率
対象者 731人	初回実施件数(人)	73	0	0	1	0	0	1	90	34	14	2	0	1	143	19.56%
	完了件数(人)	60	3	3	0	0	0	1	0	0	0	0	60	33	100	13.68%

### 3. 重症化予防対策の推進（その他の保健事業）

#### 【未受診者に対する受診勧奨】

生活習慣病予防健診を受診し、血圧・血糖値が基準以上（受診勧奨値）であるにも関わらず、健診後3か月以内に医療機関を受診していない方へ受診勧奨通知を送付し、生活習慣病の重症化を予防しました。

本部が実施する一次勧奨文書（血圧・血糖値の内、いずれか一つでも基準に該当する者）の送付に加え、一次勧奨の内さらにリスクが高い基準に該当する者に対し、二次勧奨文書を島根支部より送付しました。

- 結果：受診勧奨後3か月以内の受診率：8.9%（目標：12.9%以上）

#### 【糖尿病性腎症重症化予防対策】

島根県の重症化予防プログラムの基準に基づき対象者を選定し、外部専門機関に重症化予防指導の参加勧奨及び重症化予防指導を実施しました。

- 結果：受診勧奨数：458名 参加者数：11名→評価実施（指導終了）者：8名（全体の1.7%）

#### 【ウォーキング動画の作成】

ウォーキング大会を予定していましたが、コロナ禍でイベントを中止し、ウォーキング動画を作成しました。（12月）

県や関係機関に情報提供を行いました。また健診機関には令和3年度生活習慣病予防健診受診者に対し、健診結果へのチラシの同封を依頼し、健康づくりの促進を図りました。

- 結果：YouTube再生回数：483回（R3.3末時点）  
54健診機関4,0950枚チラシ配布

島根支部では、健康寿命の延伸、医療費の伸びの抑制につながる健康経営の推進を目的とした「ヘルス・マネジメント認定制度」の普及により、コラボヘルスの一層の推進を図りました。

### 【コラボヘルスの取組状況】

- 広報の実施  
島根県内に広く周知するため、新聞広告等を利用して健康経営の周知・普及促進を図りました。  
(山陰中央新報社 5段広告(8月)、経済ウィークリー(8月)実施)
- 健康宣言事業所数の獲得  
文書及び電話勧奨を520事業所に実施しました。(1~3月)
- 認定事業所数の獲得  
事業所カルテ送付時等に文書勧奨を実施しました。認定ヒアリングを訪問から書面審査と電話による聞き取りに変更し、コロナ禍でも認定事業所の獲得に努めました。
- 健康経営優良法人の推進  
健康宣言事業所に対し、文書及び電話勧奨を1,102事業所に実施しました。(8~10月)
- フォローアップの推進  
事業所の健康度が見える化した「ヘルス・マネジメントカルテ」を635事業所に提供しました。(7月)  
健康宣言事業所向けに出前講座(44件)及び健康機器レンタル(53件)を行い、事業所の健康意識の向上に努めました。  
認定事業所向けに優待サービスを7月から開始し、フォロー体制の充実を図りました。(9事業所2,290枚配布)

## 4. コラボヘルスの推進

### <コラボヘルス事業所数>

コラボヘルス事業所数	R1年度実績 (合計)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2年度実績 (合計)
健康宣言事業所数	1,096	6	2	2	8	3	0	3	2	3	19	10	18	1,172
認定事業所数	132	1	0	0	10	3	3	3	1	3	0	0	1	157

### <健康経営優良法人認定事業所数>

		R1年度実績 (合計)	R2年度実績 (合計)	前年度比
健康経営優良法人認定事業所数		51	66	15
内 訳	大規模事業所数	2	2	0
	中小規模事業所数	49	64	15
文書勸奨件数		858	1,102	-93
申請件数		63	88	25
内 訳	大規模事業所数	2	2	0
	中小規模事業所数	61	86	25

## 5. 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進

加入者や事業主への広報については、毎月事業所へ送付される納入告知書に同封するチラシのほか、ホームページやメールマガジンなどのITツールを活用したタイムリーな情報提供を行っています。また、理解度調査で課題となった項目（保険料率や協会けんぽの取組等）について、適切な広報を実施しました。

ホームページについては、「見やすく」「探しやすく」なるよう改善するとともに、タイムリーできめ細やかな情報発信に努めました。メールマガジンについては、1年間の新規登録者が318人増加しました。メールマガジン登録希望の健康保険委員が増えたことが要因と考えます。

### 【広報の取組状況】

- 協会内各種広報媒体を活用した広報
  - ・ホームページ（随時更新）
  - ・納入告知書同封チラシ（毎月）
  - ・メールマガジン（毎月）
  - ・社会保険しまね（5月,7月,9月,11月,1月,3月）
  - ・健康保険委員向け情報誌「だんだん健康」（6月,9月,12月,3月）
  
- 正しい医療のかかり方の広報  
 啓発パンフレットを作成し、県内事業所（10,950事業所）に配布し、啓発を図りました。（3月）

### ＜メールマガジン登録者数の状況＞

	R1年度実績 (合計)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2年度実績 (合計)
メールマガジン登録者数 (月末時点)	2,276	2,268	2,268	2,303	2,307	2,448	2,544	2,545	2,549	2,561	2,565	2,586	2,594	2,594
増減		-8	0	35	4	141	96	1	4	12	4	21	8	318

協会けんぽでは、加入者及び事業主の健康増進や医療費適正化に向けた取組みを5つの指標で全47支部を評価し、評価結果（成績）が上位23位以内に入った場合にインセンティブ（報奨金）が付与され、都道府県ごとの「健康保険料率」に反映させています。そのため、加入者や事業主の理解を深めるために、インセンティブ制度の広報を積極的に行いました。

### 【インセンティブ制度の広報活動状況】

- web広告を利用したインセンティブ制度広報  
日本国内の検索エンジン利用率シェア1位、2位となる「Google」及び「YAHOO!」の提携サイトにバナー広告を掲載しました。バナー広告をクリックすることで島根支部のHPに誘導し、周知を図りました。
- インセンティブ制度の広報チラシの作成  
県内事業所（10,950事業所）に対し、インセンティブ制度の広報チラシを作成し、情報提供を行いました。
- 協会内各種広報媒体による広報
  - ・納入告知書同封チラシ（10月）
  - ・メールマガジン（11月、2月）
  - ・健康保険委員向け情報誌「だんだん健康」（12月）
- 山陰中央新報社による広報  
島根県内に広く周知するため、新聞広告等を利用して保険料率改定の広報とあわせてインセンティブ制度の周知・普及促進を図りました。（山陰中央新報社 15段広告（3月）、経済ウィークリー（3月）実施）

### <web広報結果>

広告期間	対象デバイス	ターゲティング	表示回数	クリック数	クリック率
3/1~3/30 (30日間)	スマートフォン タブレット	島根県内 18~70歳	約1,717回	約3.2万回	0.19%

## 5. 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進

加入者及び事業主と協会の距離を縮める橋渡しの役割としてご協力をいただいている健康保険委員の方々に健康保険、協会の事業運営に関するご理解をより深めていただくために、情報誌の発刊をしました。  
より多くの方に健康保険委員を担っていただきたく、委嘱者数の拡大に向けた事業所への勧奨を実施しました。

### 【健康保険委員の活動状況】

- 健康保険委員向け情報誌「だんだん健康」の発刊（6月、9月、12月、3月）
- 健康保険委員表彰  
理事長表彰 3名、支部長表彰 14名
- 委嘱者数拡大への取組  
文書勧奨を実施（7～9月にかけて、1,451事業所に対し実施）  
新規適用事業所向けに文書勧奨を実施（6～2月にかけて、249事業所に対し実施）

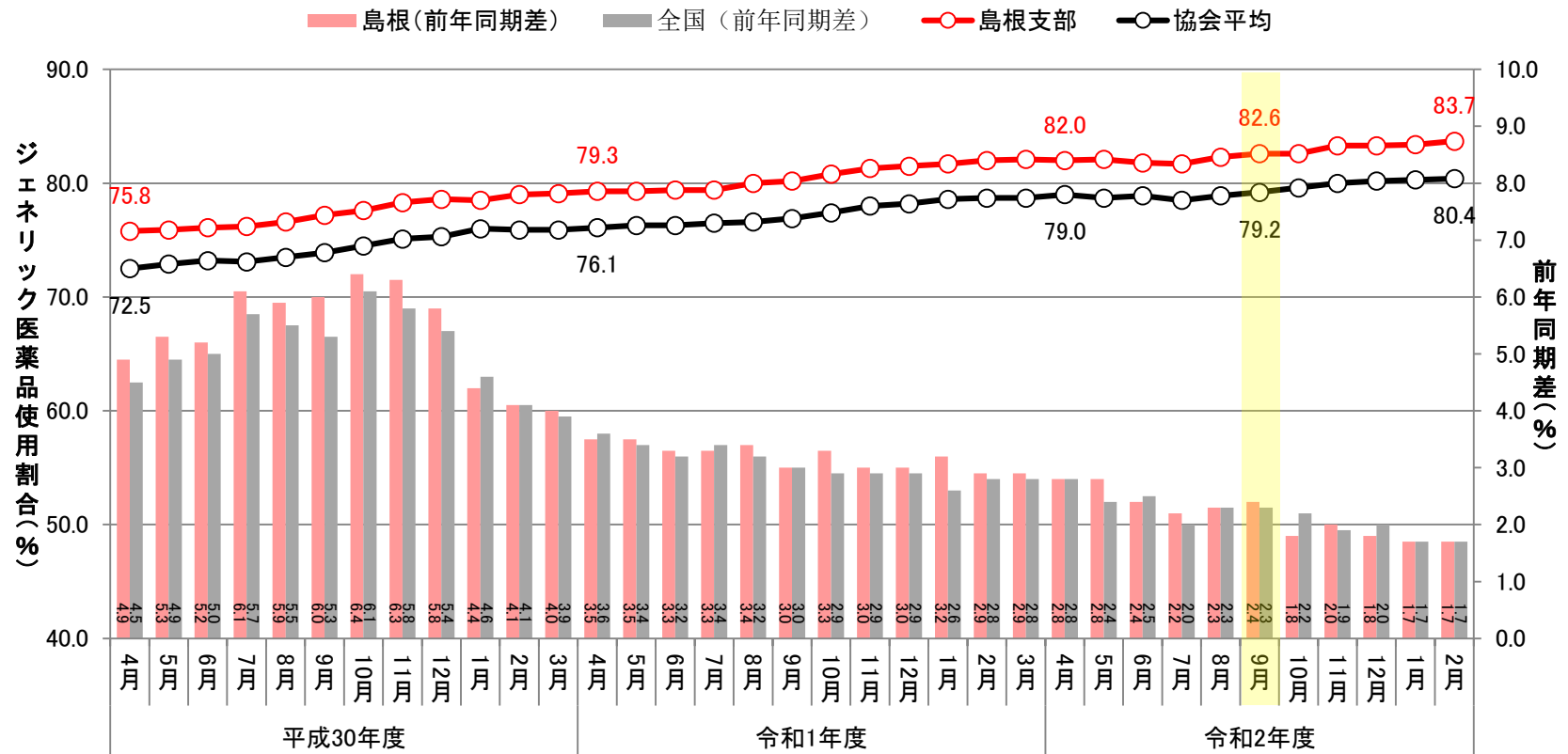
### <健康保険委員委嘱者数>

	R1年度実績 (合計)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2年度実績 (合計)
健康保険委員登録者数 (月末時点)	2,669	2,670	2,670	2,694	2,750	2,843	2,900	2,905	2,912	2,911	2,918	2,918	2,912	2,912
増減		1	0	24	56	93	57	5	7	-1	7	0	-6	243

# 6. ジェネリック医薬品の使用促進

ジェネリック医薬品の使用割合について、骨太方針2017において、「2020年9月までに80%以上にする」という目標が示されました。令和3年2月末現在、協会けんぽ（全国）は、80.4%となり、島根支部については83.7%（全国第6位）となっています。令和2年度の主な取り組みとしまして、加入者に対しては、年2回ジェネリック医薬品軽減額通知の発送を行うとともに、県内医療機関及び調剤薬局に対し、ジェネリック医薬品使用割合見える化ツールの提供および訪問を通じて、ジェネリック医薬品の現状説明と使用促進の依頼を行いました。

## 島根支部ジェネリック医薬品使用割合／経年推移



注1. 協会けんぽ（一般分）の医科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。（ただし、電子レセプトに限る。）  
 なお、DPCレセプトについては、直接の診療報酬請求の対象としないコーディングデータを対象としている。  
 注2. 加入者の適用されている事業所所在地の都道府県毎に集計したものである。  
 注3. 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えたものをいう。  
 注4. 【(後発医薬品の数量) / ((後発医薬品のある先発医薬品の数量) + (後発医薬品の数量))】で算出している。  
 医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。  
 注5. 後発医薬品の取替月には、後発医薬品が初めて取替される先発医薬品があると、算出式の分母の対象となる先発医薬品が増えることにより、後発医薬品使用割合が低くなることもある。



### 【ジェネリック医薬品使用促進に向けた取組状況】

#### (加入者に対する取組)

- ジェネリック医薬品軽減額通知の送付  
現在、服用中の先発医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合の自己負担の軽減可能額をお知らせする「ジェネリック医薬品軽減額通知」を発送しました。  
【第1回目（令和2年8月実施）】
  - ・通知対象者数 : 21,891名
  - ・切替人数 : 6,991名
  - ・軽減効果額/月 : 約1,271万円【第2回目（令和3年2月実施）】
  - ・通知対象者数 : 18,791名
  - (※通知結果は令和3年8月頃公表予定)
- お薬手帳カバー送付によるジェネリック医薬品の使用促進及び適正な服薬の推進  
ジェネリック医薬品軽減額通知の未切替者（切替効果額2,000円以上）190人、同一月3薬局以上受診の中学生以下の加入者748人に対し、適正な服薬の推進、ジェネリック医薬品の使用促進及びかかりつけ薬局の推進を図りました。
- 県内市町村と連携した広報  
ジェネリック医薬品使用促進にかかる懸垂幕または幟を県内8市+6町の市役所庁舎等に掲示しました。
- 山陰中央ビルを活用した広報  
支部が入居する山陰中央ビルへ懸垂幕を掲示し広報を実施しました（年間60日）。

#### (医療機関・調剤薬局に対する取組)

- 保険者協議会と連携した広報  
医師会、歯科医師会、薬剤師会、島根県、保険者協議会の連名で使用促進を図るポスターを作成し推進を図りました。
- ジェネリック医薬品使用割合見える化ツールの提供  
自院のジェネリック医薬品使用割合を県平均や全国平均と比較し使用状況「見える化」したお知らせを送付しました。
- ジェネリック医薬品疾患別価格差リーフレットの提供  
島根県薬剤師会の監修により、先発医薬品とジェネリック医薬品の疾患別価格差を記載したリーフレットを作成し、県内324調剤薬局の窓口で配布しました。
- ジェネリック医薬品使用促進緊急対策期間の実施  
薬剤数量多い医療機関・薬局を中心に訪問を実施し、さらなる使用割合の促進を図りました。（6医療機関、5調剤薬局）

## 7. 医療データの分析に基づく地域の医療体制への働きかけや医療保険制度改正等に向けた意見発信

島根県に設置されている協議会等に参画して地域の医療政策の企画・立案に積極的にかかわり、保険者としての立場から効率的かつ効果的な地域医療の実現や医療費適正化などに関する意見を積極的に発信しました。

### 【参画している主要な各種協議会】

- 島根県医療審議会
- 地域医療構想調整会議（県内全6区域）
- 島根県保険者協議会
- 島根県国民健康保険運営協議会
- 島根県地域・職域連携健康づくり推進協議会
- 健康長寿しまね活動推進委員会 他

### ＜令和2年度主な協議会への参画状況＞

協議会等	参画回数	主な議題
医療審議会	3回 (内書面1回)	医療計画等を審議する他、医療提供体制の確保等について
地域医療構想会議	7回	「地域医療構想」の進め方と進捗状況など
島根県保険者協議会	2回	令和元年度事業報告及び歳入歳出決算報告など
島根県国民健康保険運営協議会	2回	島根県国民健康保険運営方針に基づく運営状況について

## 7. 医療データの分析に基づく地域の医療体制への働きかけや医療保険制度改正等に向けた意見発信

協会では、「医療等の質や効率性の向上のための調査研究等」、「意見発信及び政策提言に必要となる加入者・事業主への情報提供」など、保険者機能強化・発揮に向けての知見強化として医療の質や適正化に関する研究等を取り組みました。

### 【調査・分析事業の取組状況】

- 平成30年度島根支部医療費等分析報告書の作成  
医療費データ及び健診結果データの分析を実施、県や関係機関への提供を行いました。（7月）
- 保険者協議会への医療費及び健診結果データ（匿名加工情報）提供  
他保険者（国保等）と統合した医療費及び健康課題の分析を実施するため、保険者協議会へ医療費データ及び健診結果データを提供し、他保険者とデータを統合することで県全体の健康課題等の抽出を行いました。（9～3月）  
（保険者協議会とは匿名加工情報の取扱いに関する覚書締結。）
- ジェネリック医薬品使用状況の分析（ジェネリック医薬品使用状況報告書作成）  
島根支部のジェネリック医薬品使用状況の課題を洗い出すため、2020年4月診療分データにより分析を実施し報告書に取りまとめし、県内医療機関および調剤薬局に情報提供を行いました。（1月）

## IV.組織・運営体制関係

個人情報保護や情報セキュリティなどの法令等規則の順守に関する研修を通じて、その遵守の徹底を図り、業務スキルの向上を目的とした研修を実施し、人材育成の推進を図りました。

また、より良いサービスの標準化を目指し、業務の効率化・改善を検討する定例会議において検討し、環境整備を図るとともに、職員のコスト意識を高め、競争入札の徹底、消耗品の在庫管理及び節電対策によりさらなる経費削減に努めました。

## 【組織の適切な運営】

- 評議会の開催（7月、10月、1月）
- 自主点検の実施（6月、11月）、衛生委員会の開催（毎月）、全職員対象5研修（コンプライアンス、個人情報保護、情報セキュリティ、メンタルヘルス、ハラスメント）の実施、主任・スタッフ対象のビジネススキル研修の実施
- 災害時に備えたリスク管理体制の構築（安否確認システムによる模擬訓練の実施）
- 超過勤務縮小に向けた取り組み（毎週水曜日、金曜日をノー残業デーとして設定）
- CS向上委員会を毎月開催し、CS向上の取り組みを強化

## 【コンプライアンス・個人情報保護等の徹底】

- コンプライアンス委員会を開催（5月、8月、12月、2月）し、事務処理誤りの再発防止策の検討を行いました。また、職員全員を対象に研修会を開催し、意識の向上を図るとともに、マナーの向上の取り組みを実践しました。
- 個人情報保護管理委員会を開催（5月、8月、12月、2月）し、自主点検結果を踏まえた改善策の確認と情報セキュリティ及び個人情報管理における取り扱いの再徹底を行いました。また、職員全員を対象に研修会を開催し、意識向上を図りました。

## 【人材育成の推進】

- 本部主催の研修及び支部独自の研修を通じた人材育成の推進を行いました。

## 【業務改革・改善の推進】

- お客様の声に基づくサービス改善、事務処理誤りの事例共有と再発防止、業務改善及び効率化を進め職員個々の業務改善意識の醸成を図りました。

## 【日本年金機構との協力連携】

- 保険証回収、被扶養者資格の再確認、納入告知書に合わせた広報、傷病手当金と障害年金との併給調整等日本年金機構と協力連携して業務を推進しました。

## 【経費節減等の推進】

- 調達審査委員会における厳格な審査を通じた調達、消耗品のWEB管理による一括発注等により経費削減に努めました。

## V.協会けんぽ島根支部 K P I 一覽

# 令和2年度 島根支部事業計画 KPI一覧表

青字：達成  
赤字：未達成

## 1. 基盤的保険者機能関係

令和2年度 島根支部事業計画【KPI】	令和2年度実績	
	島根支部	全国
<b>(1) サービス水準の向上</b> 【KPI】 ① サービススタンダードの達成状況を <u>100%</u> とする ② 現金給付等の申請に係る郵送化率を <u>91.9%以上</u> とする	①100% ②92.7%	①99.5% ②94.8%
<b>(2) 効果的なレセプト点検の推進</b> 【KPI】 社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率について <u>対前年度(0.341%)以上</u> とする (※) 査定率=レセプト点検により査定(減額)した額÷協会けんぽの医療費総額	0.300%	0.318%
<b>(3) 柔道整復施術療養費の照会業務の強化</b> 【KPI】 柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 of 施術の申請の割合について <u>対前年度(0.30%)以下</u> とする	0.58%	1.12%
<b>(4) 返納金債権発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進</b> 【KPI】 ① 日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を <u>98.0%以上</u> とする ② 返納金債権(資格喪失後受診に係るものに限る。)の回収率を <u>対前年度(56.58%)以上</u> とする ③ 医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合を <u>対前年度(0.041%)以下</u> とする	①93.28% ②73.68% ③0.036%	①92.41% ②53.40% ③0.087%
<b>(5) 限度額適用認定証の利用促進</b> 【KPI】 高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合を <u>85.0%以上</u> とする	73.2%	79.6%
<b>(6) 被扶養者資格の再確認の徹底</b> 【KPI】 被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を <u>94.0%以上</u> とする	94.2%	91.3%



## 2. 戦略的保険者機能関係

令和2年度 島根支部事業計画【KPI】	令和2年度実績	
	島根支部	全国
<b>（1）特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上</b> 【KPI】 ① 生活習慣病予防健診実施率を <u>65.0%以上</u> とする ② 事業者健診データ取得率を <u>13.0%以上</u> とする ③ 被扶養者の特定健診受診率を <u>34.0%以上</u> とする	① <b>64.0%</b> ② <b>11.5%</b> ③ <b>31.4%</b>	①51.0% ②8.0% ③21.3%
<b>（2）特定保健指導の実施率の向上</b> 【KPI】 特定保健指導の実施率を <u>29.1%以上</u> とする	未確定	17.7%
<b>（3）重症化予防対策の推進</b> 【KPI】 受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を <u>12.9%以上</u> とする	<b>8.9%</b>	10.2%
<b>（4）広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進</b> 【KPI】 ① 広報活動における加入者理解率の平均について <u>対前年度（48.7%）以上</u> とする ② 全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を <u>7.4%以上</u> とする	① <b>48.1%</b> ② <b>68.4%</b>	①41.0% ②45.3%
<b>（5）ジェネリック医薬品の使用促進</b> 【KPI】 協会けんぽのジェネリック医薬品使用割合を <u>82.2%以上</u> とする	<b>82.6%</b>	79.2%
<b>（6）医療データの分析に基づく地域の医療提供体制への働きかけや医療保険制度改正等に向けた意見発信</b> 【KPI】 ① 他の被用者保険者との連携を含めた、地域医療構想調整会議へ被用者保険者の参加率を <u>100%</u> とする ② 「経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベース」などを活用した効果的な意見発信を実施する	① <b>100%</b> ② <b>実施なし</b>	①87.6% ②30支部実施

## 3. 組織・運営体制関係

令和2年度 島根支部事業計画【KPI】	令和2年度実績	
	島根支部	全国
<b>（1）費用対効果を踏まえたコスト削減等</b> 【KPI】 一般競争入札に占める一者応札案件の割合について、 <u>20%以下</u> とする。または、一者応札件数を1件以下とする。	<b>25%</b> （4件中1件）	15.5%

## VI.島根支部保険者機能強化予算執行実績

区分 (大)	区分 (中)	番号	継続 新規	事業名	事業内容・実績	予算額	予算執行額	執行率	R3年度実 施予定	事業結果 該当ページ
支部 医療費適 正化等予 算	医療 費適 正化対 策	1	継続	健康保険医療事務セミナー (浜田)	未実施 新型コロナウイルス感染症にかかる対応のため開催を予定していた医療事務セミナーについては、中止とした。	¥41,000	¥0	0%	○	
		2	継続	医療機関への「負傷原因報 告書ハガキ」の設置	未実施 新型コロナウイルス感染症にかかる対応のため、医療機関への「負傷原因報告書ハガキ」の設置中止とした。	¥25,000	¥0	0%	○	
	広 報・ 意 見 発 信	1	継続	納入告知書同封チラシの作 成	事業内容や健康保険制度全般についての広報物を作成。年金機構が発行する納入告知書に同封し全事業所へ送付。 ■毎月実施	¥891,000	¥630,322	71%	○	P.21
		2	継続	インセンティブ制度の広報 チラシの作成	インセンティブ制度の周知用リーフレットを制作し全事業所へ送付。(3月) ■送付件数:10,950業所	¥93,500	¥349,800	374%	○	P.22
		3	継続	ヘルス・マネジメント認定 制度の拡大およびインセン ティブ広報	山陰中央新報社の新聞紙面への広告及び山陰経済ウィークリー(情報誌)への広告により、ヘルス・マネジメント認定制度及びインセンティブ制度の広報を実施。 ■新聞18万部(支部長インタビュー掲載(4、1月)、ヘルス・マネジメント認定制度広告(8月)、インセンティブ制度広告(3月)) ■情報誌5,000部(ヘルス・マネジメント認定制度広告(8月)、インセンティブ制度広告・健康づくり広告(3月))	¥1,650,000	¥1,650,000	100%	○	P.19
		4	継続	健康保険情報サイト「へる し〜まね」の運営	健康増進支援サイト「へるし〜まね」による、参加型ウォーキングコンテンツを用いた運動の実践及び季節に応じた健康レシピの紹介による食生活の改善など加入者の健康増進を図った。 ■アクセス件数:3,936件 閲覧者数は1日あたり10件程度、参加型ウォーキングコンテンツの利用者は1日あたり10名以下に加え、レンタルサーバーの契約が3/31で終了し、更新する場合は更新料が発生することもあり、一部のコンテンツを協会ホームページに移動させることとし、令和3年1月31日を以ってサイトを閉鎖した。	¥713,000	¥107,800	15%	×	
		5	継続	web 広告を利用したインセ ンティブ制度広報	Yahoo 提携サイト及びGoogle 提携サイトにバナー広告を掲載し、バナーをクリックすると島根支部HPへ遷移する方法により広報を実施。(3月) バナー広告は島根県内の18〜70歳をターゲットに表示。デバイスは主にスマートフォン。 ■バナー表示回数:約1,717万回■クリック数:約3.2万回■クリック率:0.19%■1クリック当たり費用:22円	¥1,100,000	¥1,188,000	108%	○	P.22

区分(大)	区分(中)	番号	継続 新規	事業名	事業内容・実績	予算額	予算執行額	執行率	R3年度実 施予定	事業結果 該当ページ
支部医療費適正化等予算	広報・意見発信	6	新規	健康保険の適正な使用について理解度を高めるためのガイドブックの作成	医療費適正化のリーフレットを作成し、県内事業所へ医療費適正化の啓発を図った。 ■送付件数:10,950業所	¥3,340,000	¥422,400	13%	×	
		7	継続	デジタルサイネージ(電子看板)を活用した「適正な医療のかかり方」啓発	未実施 令和元年度の実績を踏まえ、未実施とした。	¥810,000	¥0	0%	○	
		8	新規	懸垂幕の掲示(支部入居ビル)	支部が入居する山陰中央ビルに、以下のとおり掲示した。 ■健診 保健指導(60日間)、ジェネリック医薬品(60日間)	¥229,000	¥228,800	100%	○	P.25
		9	新規	ジェネリック疾患別価格差リーフレットの作成	ジェネリック医薬品と先発医薬品との薬価差を掲載したリーフレットを作成し、調剤薬局の窓口に設置することにより、ジェネリック医薬品への切り替え促進を図った。 ■配布先:324調剤薬局 配布枚数:35,000部	¥343,300	¥215,358	63%	×	P.25
		10	新規	ジェネリック医薬品使用促進啓発ポスターの作成	保険者協議会連名によるジェネリック医薬品の使用促進ポスターを作成し、県内の全医療機関・全調剤薬局および健保委員への配布と掲示により、ジェネリック医薬品の使用促進を図った。 ■配布先:医療機関567カ所、調剤薬局324カ所、健保委員2,664名 配布枚数:3,555部(各所1部)	¥144,000	¥207,900	144%	○	P.25
執行額計						¥9,381,000	¥5,000,380	53%		

※端数処理の整理のため内訳と合計が整合しない場合があります。

区分 (大)	区分 (中)	番号	継続 新規	事業名	事業内容・実績	予算額	予算執行額	執行率	R3年度実 施予定	事業結果 該当ページ
支部 保健 事業 予算	健 診 経 費	1	継続	協会主催の集団健診実施	特定健診対象者に対し、受診機械拡大を図るため、支部独自の集団健診を実施した。(8～3月)また、オプション健診等による付加価値を追加し、受診率向上を図った。 ■勤奨人数 58,496人 受診者数合計 3,765人	¥5,697,300	¥3,021,699	53%	○	P.16
		2	継続	事業者健診データ取得勤奨	外部業者による同意書取得及び結果票取得の勤奨並びにデータ作成を実施。 ■同意書取得件数 768件、健診データ取得件数 3,690件	¥9,284,000	¥7,373,184	79%	○	P.16
		3	—	健診推進経費	生活習慣病予防健診、事業者健診、特定健診の健診推進経費。 ■生活習慣病余病健診機関 1機関 新型コロナの影響により、契約件数が伸び悩んだ。	¥2,553,000	¥220,000	9%	○	P.16
		4	継続	支部独自の被扶養者向け健診パンフレットによる広報	被扶養者向けに受診までの流れ、健診に対するQ&A、支部独自事業のがん検診パックの説明、市町村のがん検診の案内、健診機関一覧を記載したパンフレットを作成し、特定健診受診率向上を図った。 ■配布枚数：34,000部	¥822,800	¥469,700	57%	○	
		5	継続	社長メッセージによる特定健診受診勤奨	健康保険委員の在籍する事業所の代表者の氏名を記載した集団健診の受診勤奨を実施した。(3月) ■勤奨件数：3,832名 同意事業所数：1,021事業所 健診申し込み人数：250人(6.52%) 対象者ごとに印刷物が異なるため、支部で印刷・封入を行った。	¥122,100	¥0	0%	○	P.16
		6	新規	労働局と連携した事業者健診結果所得勤奨	未実施 委託業者による事業者健診データ取得の同意書取得状況が、前年度をはるかに上回る出足であったため、本事業の費用の流用も想定し、実施を見送った。	¥264,000	¥0	0%	○	
		7	新規	地域医療情報ネットワークを利用した事業者健診データ取得事業	地域利用情報ネットワーク(まめネット)を通じて取得した同意書及び健診結果データの管理を実施。 ■同意書取得件数：16件、事業所健診データ取得件数：114件	¥495,000	¥1,039,750	210%	○	
		8	新規	令和元年度生活習慣病予防健診未受診者に対する直接勤奨	令和元年度生活習慣病予防健診未受診者のうち、中小規模の事業所の被保険者に対し、直接健診の勤奨を実施。 ■勤奨人数：9,008人 申し込み人数：305人 受診者数：218人(3月) 健診機関から早期実施の要望があったため、支部内で印刷を実施した。	¥297,000	¥0	0%	○	

区分 (大)	区分 (中)	番号	継続 新規	事業名	事業内容・実績	予算額	予算執行額	執行率	R3年度実 施予定	事業結果 該当ページ
支部保健事業予算	保健指導経費	1	新規	集合契約締結機関と連携した、特定保健指導（集団・個別）利用勧奨	特定保健指導時に外部委託している保健指導機関が健康セミナー（運動、食事）を行い、健康意識の向上を図った。 ■勧奨人数：266人 申し込み人数：8人 受講者数：6人（R3.1.20）	¥1,340,000	¥95,438	7%	○	
		2	継続	保健指導経費	健診実施機関実地指導旅費（7月浜田市7240円）及び公民館等における特定保健指導（2月出雲市650円）実施した。	¥212,680	7890	4%	○	
	重症化予防対策	1	継続	勧奨対象者に対する受診勧奨業務委託	未実施 外部委託をせず支部内で文書勧奨を実施した。	¥960,000	¥0	0%	○	
		2	継続	糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	重症化予防プログラムの参加勧奨を業務委託により実施する。勧奨の結果、重症化予防プログラムに参加意思を示したものは住所地の自治体により実施する ■勧奨人数：458人 申し込み人数：18人うち主治医からの同意を12名分取得し11名に保健指導実施	¥1,710,000	¥1,697,067	99%	○	P.18
	その他（コラボヘルス等）	1	継続	委託業者等による健康づくり出前講座	健康宣言事業所に対する健康づくり支援事業として、健康づくり出前講座を実施した。 ■44件実施 新型コロナウイルスの影響により、一定期間全講座の中止や再開後も計画通りの件数は実施できなかった。	¥738,000	¥246,000	33%	○	P.19
			2	継続	健康測定機器レンタル	健康宣言事業所に対する健康づくり支援事業として、健康づくり出前講座を実施した。 ■83件実施 新型コロナウイルスの影響により、肺年齢測定器のレンタルを中止するなど計画通りの件数は実施できなかった。	¥602,800	¥7,667	1%	○
		3	新規	健康測定機器レンタルの発送業務外部委託	未実施 外部委託せず、支部内で対応した。	¥841,500	¥0	0%	×	
		4	新規	各種施設等利用優待券の発行	認定事業所に対するインセンティブとして、運動施設で利用できる優待券を配布し、認定事業所の健康づくりの促進を図った。あわせて、健診機関に対して令和3年度に実施する生活習慣病予防健診受診者に対し、健診結果へのチラシの同封を依頼し実施した。 ■協賛企業数：2 協賛企業 配布枚数：9事業所2,290枚 新型コロナウイルスの影響により、施設の休業や加入者の自粛により事業が伸び悩んだ。	¥216,000	¥81,477	38%	○	P.19
		5	継続	ウォーキングおよび健康測定イベント	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントを中止した。代替として、ウォーキング動画を作成し、健康づくりの促進を図った。あわせて、健診機関に対して令和3年度に実施する生活習慣病予防健診受診者に対し、健診結果へのチラシの同封を依頼し実施した。 ■YouTube再生回数：483回 健診機関向けチラシ送付：54健診機関 40,950枚	¥584,040	¥583,000	100%	○	P.18
	執行額計						¥26,745,000	¥14,842,872	55%	

※端数処理の整理のため内訳と合計が整合しない場合があります。